

流山とりだより

流山野鳥同好会

No.144

2023年7月10日



モズ (左:メス、右:オス)
見つめ合うやさしい眼差し。
なんと微笑ましいのでしょうか。
ちょっと、焼けますね・・・

(鳥だより 14頁より)

2023.05.05 野々下地区
撮影:落合 聡

< 4月定例観察会は雨予報のため中止となりました。私設観察会として開催しましたので報告します。>

観察会から

● 4月16日 私設観察会 諏訪神社・大堀川水辺公園 2023年4月16日

菊池和子

前日の夕方、天気が悪いとの判断で中止としましたが、豊四季駅には17名も集まっていました。霧雨でのスタートでしたが、良く晴れ暑くなりました。

諏訪神社でアオバズクの写真と説明、スマホの鳴き声、収集した羽を触りました。羽の手触りは気持ちよく、音をたてずに飛べるということです。(アオバズクは10年ほど前にいたそうで、写真が置いてありました)

大堀川公園では、近くにツグミ、コゲラ、カワセミ、ツバメ、ホオジロ、アオジ、カラヒワなど来てくれ、あまり動かないで良く見られました。鳥合わせは22種でした。

帰りにカスミスーパー経由で「おおたかの森駅」まで歩きましたが、TX高架にイソヒヨドリのオスがいて良くさえずっていました。見られた人は良かったですね。



青葉の頃に渡ってくるズク(フクロウ類)なので、アオバズク

<編集より>

前日からの雨模様のため、定例会は中止となりました。が、しかし、曇り空のもと17名の会員が集合。盛り上がってしまったのです。ほんとに・・・



諏訪神社



(左3枚)アオバズク、(右2枚)フクロウ



今回は残念、クイナです



バッチリ、コゲラ



電線にホオジロ

◆観察した鳥

カワウ、コサギ、サシバ、コガモ、カルガモ、バン、キジバト、カワセミ、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ツグミ、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

22種

◆参加者

今泉好美、遠藤悦子、落合 聡、菊池和子、栗原三八子、後藤邦宏、相馬利雄、田中春奈、田中一秀、塚本清美、布崎良枝、服部洋之、服部雅子、東原 聡、牧田浩美、牧田久寿、増田久美子

以上 会員 17人



全員集合

観察会から

●5月（第290回）定例観察会 野々下・総合公園

2023年5月21日

落合 聡



野々下周辺

5月の定例観察会は、野々下・総合公園で行いました。この場所は例年ですと年1回12月に行っていました、別の月に行うのは初めてです。夏鳥の観察にも良い場所なので、5月にも行うことにしました。

観察会後に親睦会を行うため、10時に豊四季駅集合にしてスタートしました。駅から歩き始めてすぐハシボソガラスを見つけました。近くに木があったので、巣があるかもしれないと思い探してみると、幼鳥が木の中にいました。嘴が赤く見え、目も青味がかっていました。このような色をしているのは短い期間なので、観察できて良かったです。

野々下水辺公園では、近くの畑にコチドリがいました。今回見つけたいと思っていた鳥です。しかもオスとメスのつがいでした。更に驚くことに雛がメスの近くを歩き回っていました。とても可愛い姿に癒され、全員感動しました。

水辺公園から坂川に出ると、早速カワセミが川にダイビングするのを目撃しました。その後ヨシ原の枝に止まると、すぐ別の個体が近くに止まりました。嘴の色からオスとメスだと分かり、つがいでした。コチドリに続きカワセミまでつがいを見ることができ嬉しかったです。

坂川を後にして田畑が広がる里山を歩きました。ヨシ原近くの木には、オオヨシキリが止まっており、大きな声でさえずっている姿をよく観察できました。普段鳴き声はよく聞こえても姿はあまり見えないので、皆で観察できたのは運が良かったです。

畑に沿って歩いていると、キジのオスが姿を現しました。美しい姿を観察できて、皆で感動しました。その後も小山の上に座っている別の個体も見ることができました。更に他の畑でも姿を現し、鳴いた後に翼をはばたかせる「母衣打ち」が見られました。また、キジの他にモズの幼鳥も見られたので良かったです。

総合公園の近くにある調整池では、カイツブリが数羽泳いでいました。何度も潜水する姿を観察できました。しばらくすると、カルガモが3羽飛んできて着水しました。すると、すぐにカルガモ同士で喧嘩が始まりました。その直後、今度はそこへカイツブリが集まってきて、激しくカルガモ



コチドリ



かわいいヒナ



見守る親鳥

を追いかけ回し、カルガモとカイツブリの喧嘩になりました。穏やかだった水面が一変して騒然となり、驚きの光景でした。

この後は総合公園に入り、鳥合わせを行いました。今日観察できた鳥は24種類でした。12月に訪れた時とは違い、幼鳥がいたり、つがいの鳥がいたり、親子の鳥がいたり、さえずる鳥がいたり、喧嘩する鳥がいたり、この時期ならではの鳥たちを観察できました。鳥たちの季節的な変化を感じることができた楽しい観察会でした。

<編集より>

コチドリのヒナは本当に可愛かった。普段なら動き回る親鳥がじっと動かないのは、ヒナを守っていたのですね。子育てガンバレー！

<初参加の皆さんの感想です>

非常に有意義でした。知らない鳥を見て感動しました。次回も楽しみにしています。(川上和雄さん)

◆観察した鳥

カイツブリ、カルガモ、コジュケイ、キジ、コチドリ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、オオヨシキリ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

以上24種



キジ



ケン、ケーン



◆参加者

伊東 孝、今泉好美、今川裕史、今川裕美、今川 肇、落合 聡、菊池和子、
近藤浄一、菅野文夫、鈴木淑子、相馬利雄、田中春奈、田中一秀、塚本清美、
服部洋之、服部雅子、東原 聡、牧田浩美、牧田久寿、森田洋一、矢嶋賢司、
山下直樹、
(会員以外 川上和雄、牧田虎太郎(コタくん小1)、牧田葉南(カンナちゃん小4))

以上 25 人



全員集合

観察会から

●6月（第291回）定例観察会 利根運河・新川耕地 2023年6月18日

若林幹夫

梅雨の季節の最中ですが、天気予報は晴れで猛暑も予想される6月18日午前9時、運河駅改札前に18人が集まりました。「この時期に市内で観察できる鳥の種類は限られていますが、水鳥中心に探していきましょう」と落合さんから説明があって、その日の観察会はスタートです。

駅から出るとすぐにツバメ、運河水辺公園上からキジバト、ムクドリを確認。その後、上空を飛ぶダイサギ（夏なのでくちばしの色が黒）、ハシボソ



エノキのてっぺんで・・・

ガラスなどを見ながらしばらく行くと、遊歩道脇のエノキのてっぺんでホオジロのオスがさえずっているのに行き当たり、スコープも使って全員でゆっくり観察。カワセミやカイツブリ、セキレイ類はいないかと水辺の方も見ながら歩いたのですが、これらの鳥たちは確認できませんでした。少し遠くの野田市側にオオタカが出ましたが、すぐに森に入ってしまったので全員では見られず、その後、さらに遠くを飛ぶトビ、水面のオオバンなどを確認して、におどり公園で一休みとなりました。

その後、公園を抜けて運河大橋下から新川耕地方面を眺めると、オオヨシキリの声があちこちから聞こえてきます。声をするわりに姿がなかなか見つけられないのですが、それでも何羽かをスコープに入れて全員で観察。さらに進むと、ファンケルの工場屋上の角に、におどり公園で休憩していたときに上空を横切ったものと同じらしいチョウゲンボウのオスを発見。全員で、スコープでゆっくり見ることができました。運河大橋をくぐり、新川耕地の北端部に入ると、「照明灯の上にさっきのチョウゲンボウ……、いやちがいますね、サシバです」と落合さんの声がしてそちらを見ると、巨大配送センターを背にサシバの成長オスがとまっています。市内の観察会ではオオタカより見る機会が少ないサシバを、こちらでもゆっくり観察することができました。さらに、草のてっぺんに止まったセッカを観察。セッカはさほど珍しくはありませんが、この日のように止まっているところをゆっくり見る機会はあまりありません。コヨシ



オオヨシキリの声が・・・



草のてっぺんに・・・



セッカ

キリがないかとさらに探したのですが、残念ながら見つからず、におどり公園に戻って鳥合わせとなりました。

観察できた鳥は全部で27種。カワセミ、コヨシキリは見られませんでした。ホオジロ、チョウゲンボウ、サシバ、オオヨシキリなどをじっくり見ることができ、この時期としてはそれなりの数の鳥たちを見ることができました（が、運河駅までの帰路は暑かった……）。

参加された皆さん、暑い中お疲れ様でした。秋にまたご一緒しましょう。

<編集より>

急に暑い日になりました。体がまだ暑さに慣れていないのでこたえますね。観察会は、7月・8月はお休みとなります。鳥たちは子育て真っ最中です。





ファンケル工場屋上の角に・・・



照明灯の上には・・・



サシバ!

◆観察した鳥

カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、トビ、オオタカ、サシバ、
チョウゲンボウ、カルガモ、キジ、オオバン、キジバト、コゲラ、ヒバリ、
ツバメ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、セッカ、シジュウカラ、メジロ、
ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス、
ハシブトガラス

以上 27 種

◆参加者

伊東 孝、今泉好美、今泉 毅、今川裕史、今川裕美、今川 肇、落合 聡、
川上和雄、菊池和子、近藤浄一、鈴木淑子、服部洋之、服部雅子、牧田久寿、
増田久美子、森岩好明、柳健一郎、若林幹夫

以上 18 人



5月21日バーベキュー親睦会

相馬利雄

5月定例観察会が終了後、お知らせ通り「会員限定バーベキュー親睦会」を開催しました。

●時間：13時30分～16時30分。

●場所：LOCAL BBQ 流山

<https://local-bbq.com/>

(観察会後に直行、徒歩2～3分。元日本庭園です)

<食材付コース> 大人@3,650円(税込み)

小学生@2,200円(税込み)飲み物は別料金。

手ぶらでOK。



Aサイト：「ホンワカ」サイト

事前申し込みでは、大人17名+小学生3名=20名の参加予定です。何せ初めての企画ですので、先ずはどんな様子が前日に下見をしました。新しい施設で結構な賑わいです。予約の確認をし、入り口にも水道にも近い4・5・6番のサイトを確保。飲み物を聞いたところ何とビールの在庫がないとのこと。「手ぶらでOK」じゃないじゃん。買い出ししなきゃ・・・当日何とかすることにしました。

さて、その当日。天気が晴れて良かったあ。天気良ければ、半分成功です。参加者を案内してから、いよいよ買い出し。ビールとサワーを40本ほど購入し、ビールは@200円、サワーは@150円で個人購入してもうことにしました。ソフトドリンクも準備よし、さあて、いよいよバーベキューの始まりです。

前もって20名を3つのサイトに分けました。Aサイトは「ホンワカ」サイト、Bサイトは「鳥熱アップ」サイト、Cサイトは「家族で楽しむゾー」サイトです。観察会の後なのでビールがうまいこと、肉とともに立て続けに杯が進みます。各サイトは盛り上がり、普段できない楽しい時間を過ごすことができました。

程よい頃に事務局・菅野さんから当会の部会制の説明です。おさらいしますと、当会は「探鳥部」「会員部」「広報部」の3つの部で構成されています。今年度の部会メンバーは、下記の皆さんです。

●探鳥部：落合（ファシリテーター・進行役）、相馬、若林、菊池和子

●会員部：相馬（ファシリテーター）、菊池和子、森岩

●広報部：菅野（ファシリテーター）、森田、服部雅子

会員の皆さんに各部への入会をお願いしました。できる方ができる範囲で良いので、お手伝いいただければ大変ありがたいです。その時お配りしたチラシをご覧ください。

宴もたけなわ、宴会なら「中締め」でお開きですが、ここから余興を一つ。持参した鳥の羽を、ご希望の皆さんに原価（材料費100円）でお譲りしました。コミミズク、フクロウ、アオバズク、オオタカ、ツミ、サシバ、トビ、アオサギ、コガモ、ハクセキレイ、カケス・・・どれもこれも夜な夜な洗浄し、乾かし、復元させた綺麗どころです。全て流山原産、というのもほとんど「市野谷の森」（オオタカの森）で収集したオオタカの食痕（オオタカが鳥を襲い食べ跡に残った羽）です。それと換羽（一年に一度抜け替わる）した羽を、偶然見つけたものです。

アオサギの羽をゲットした牧田葉南（カンナちゃん・小4）から、嬉しい写真が届きました。持っていたインコの羽と一緒に撮られた1枚です。余興をやるかどうか迷っていたのですが、喜んでもらえて良かったです。こちらこそありがとうございました。

というわけで初めての「バーベキュー懇親会」は、残り半分も大成功。参加された皆さんからも、楽しかったとの声をいただきました。

新しい会員さんも増えました。心機一転、ますます楽しい同好会にしていきたいと思っています。今後とも気長にお付き合いください。





B サイト：「鳥熱アップ」 サイト



C サイト：「家族で楽しむゾー」 サイト

<編集より>

是非、来年度も企画しましょう。食材・飲み物の持ち込みにしても良いかもしれませんね。・・・

◆参加者

伊東 孝、今川裕史、今川裕美、今川 肇(小6)、落合 聡、菊池和子、菅野文夫、菅野明美、鈴木淑子、相馬利雄、相馬由佳、服部洋之、服部雅子、東原 聡、牧田浩美、牧田久寿、牧田虎太郎(小1)、牧田葉南(小4)、森田洋一、山下直樹

以上 20 人

<追伸>

広報部に、牧田さんご夫婦、今川裕美さんが参加していただけることになりました。どうぞよろしくお願いします。



カンナちゃんのコレクションです

左：アオサギの羽。
・・・さすがに大きいな。
他：色々なインコの羽。
・・・良く集めたね。
とりじいもビックリ！

◆鳥だより——フィールドノート拝見

春から初夏にかけての今年の流山のとりだより（一部市外の記録も含）です。冬鳥たちと入れ替わって、夏鳥たちが到来・通過していったのがよくわかります。今回は報告のあった地区も多く、いつも以上に市内の鳥の様子がわかるのではないのでしょうか。

新川耕地、江戸川地区

- 4月 2日 …ヒバリ、サシバ
- 4月 4日 …サシバ
- 4月10日 …サシバ
- 4月11日 …サシバ
- 4月18日 …アマサギ、ムナグロ、セイタカシギ、セッカ
- 4月19日 …サシバ、チョウゲンボウ、ムナグロ、セイタカシギ、セッカ
- 4月20日 …セッカ
- 4月21日 …ダイサギ、チュウサギ、カルガモ、コガモ、コチドリ、カワウ、トビ、ハクセキレイ
- 5月 3日 …オオヨシキリ、セッカ
タシギ、カルガモ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、オオヨシキリ、コチドリ
- 5月 4日 …オオヨシキリ、セッカ
- 5月16日 …オオヨシキリ
- 6月 4日 …カワウ、カルガモ、コアジサシ、キジ、オオヨシキリ、ホトトギス、ムクドリ
- 6月17日 …オオヨシキリ、セッカ
- 6月23日 …アマサギ、チュウサギ、ダイサギ、アオサギ、キジ、ホオジロ、ツバメ、オオヨシキリ
- 6月24日 …アマサギ、アオサギ、オオヨシキリ、カワウ

今川裕美
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明
若林幹夫
森岩好明
若林幹夫
森岩好明
森岩好明
若林幹夫
森岩好明
若林幹夫
若林幹夫

市野谷・おおたかの森地区

- 3月29日 …ツバメ
- 4月10日 …イトヒヨドリ（♀）
- 4月29日 …シジュウカラ

菅野文夫
菊池和子
菅野文夫

新川耕地・江戸川地区



サシバ 2023.04.10 森岩



サシバ 2023.04.11 森岩



アマサギ 2023.04.18 森岩



セイタカシギ 2023.04.18 森岩



セッカ 2023.04.19 森岩



オオヨシキリ 2023.05.04 森岩

5月 1日 …キビタキ、モズ
 キビタキ、オオヨシキリ
 5月 2日 …ノスリ、トビ、ツミ
 5月 3日 …サシバ
 5月 4日 …コチドリ
 6月 10日 …ホトトギス

山下直樹
 菅野文夫
 菅野文夫
 菅野文夫
 菅野文夫

野々下地区

4月 22日 …コサギ、コガモ (♂)
 4月 29日 …キジ (♂♀)
 5月 1日 …シジュウカラ
 5月 2日 …オオバン、チュウサギ
 5月 3日 …アオサギ
 5月 4日 …コチドリ (♂)
 5月 5日 …サシバ (成鳥♂)、モズ (♂♀)

落合 聡
 落合 聡
 落合 聡
 落合 聡
 落合 聡
 落合 聡
 落合 聡

南流山地区

3月 27日 …イトヒヨドリ
 3月 31日 …イトヒヨドリ
 4月 5日 …イトヒヨドリ
 4月 7日 …イトヒヨドリ
 4月 23日 …イトヒヨドリ
 4月 30日 …オオヨシキリ、ツグミ
 5月 5日 …イトヒヨドリ

相馬利雄
 相馬利雄
 相馬利雄
 相馬利雄
 今泉好美
 相馬利雄
 今泉好美

東初石地区

4月 21日 …シジュウカラ (孵化)
 4月 22日 …シジュウカラ
 4月 27日 …シジュウカラ

森岩好明
 森岩好明
 森岩好明

野々下地区



コサギ 2023.04.22 落合



コガモ (♂) 2023.04.22 落合



キジ (♂・♀) 2023.04.29 落合



シジュウカラ 2023.05.01 落合



オオバン 2023.05.02 落合



チュウサギ 2023.05.02 落合

4月30日…シジュウカラ
 5月1日…シジュウカラ
 5月7日…シジュウカラ
 5月8日…シジュウカラ
 5月9日…シジュウカラ (巣立ち)

森岩好明
 森岩好明
 森岩好明
 森岩好明
 森岩好明

西初石地区

4月5日…シジュウカラ
 4月20日…キビタキ
 6月7日…ヤマガラ (幼鳥)
 6月15日…ホトトギス

山下直樹
 山下直樹
 若林幹夫
 山下直樹

駒木・美田地区

5月13日…オオヨシキリ

菊池和子

江戸川台地区

4月1日…ツミ
 5月5日…ツミ、オナガ
 5月6日…オナガ
 5月11日…ツミ、オナガ

森岩好明
 森岩好明
 森岩好明
 森岩好明

上新宿・北小屋地区

4月25日…キビタキ (♂)
 5月1日…キビタキ
 6月24日…ノスリ

若林幹夫
 若林幹夫
 若林幹夫

富士見台・中野久木地区

4月8日…オナガ
 5月1日…エゾムシクイ

今川裕美
 若林幹夫



アオサギ 2023.05.03 落合



コチドリ (♂) 2023.05.04 落合



サシバ (♂成鳥) 2023.05.05 落合

東初石地区

江戸川台地区



モズ (♂・♀) 2023.05.05 落合



シジュウカラ 2023.05.09 森岩



ツミ 2023.05.05 森岩

運河・理想公園地区
6月4日…コジュケイ

今川 肇

野田市今上耕地
4月25日…ムナグロ、チュウシャクシギ

森岩好明

渡良瀬遊水池
5月22日…マダラチュウヒ (♂)、トラフズク、ウグイス、オオヨシキリ
5月31日…マダラチュウヒ (♂)、トラフズク

森岩好明
森岩好明

★「鳥だより」をお寄せください。

【通勤、買い物途中などで見かけた鳥の身近な観察情報、初認情報などをお待ちしています。
【連絡先】若林幹夫 〒270-0127 流山市富士見台1-367-49 FAX:04-7154-6339
e-mail:mikio-wa@rf6.so-net.ne.jp
次号の「鳥だより」は9月20日までをお願いします。

★引続き「鳥見ばなし」も随時募集中です。

つれづれなる鳥談義、プライベートな鳥見ばなし、ほんの身近なちょい話し、なんでも結構です。

【連絡先】相馬利雄 〒270-0163 流山市南流山6-27-11 FAX:04-7159-0972
e-mail:t.souma1956@gmail.com

野田市今上耕地



オナガ 2023.05.06 森岩



ムナグロ 2023.04.25 森岩



チュウシャクシギ 2023.04.25 森岩

渡良瀬遊水池



トラフズク 2023.05.22 森岩



ウグイス 2023.05.22 森岩



マダラチュウヒ 2023.05.31 森岩

◆ 今後の行事予定

<7月、8月は定例観察会はありません。>

● 9月（第292回）定例観察会

日 時：9月17日（日曜日）

場 所：利根運河・新川耕地

集 合：運河駅 改札口を出て左側「利根運河ギャラリー」 午前9時（雨天中止）

解 散：12時ころ

持 物：弁当なし 暑さに負けず小鳥たちは元気でしょうか？

暑かったら新川耕地を早めに切り上げましょう。

● 10月（第293回）定例観察会

日 時：10月15日（日曜日）

● 11月（第294回）定例観察会

日 時：11月19日（日曜日）

● 12月（第295回）定例観察会

日 時：12月17日（日曜日）

10月・11月・12月定例観察会の場所・詳細は会報「とりだより10月号」、併せてホームページにてお知らせします。

<市外観察会> 葛西臨海公園

日 時：9月3日（日曜日）

集 合：葛西臨海公園駅 改札を出て駅前広場 午前10時（雨天中止）

解 散：①ゆとりコース 12時ころ ②健脚コース 15時ころ

持 物：弁当あり

※ 10時～15時と長いため、2コースに分けます。

① 10時～12時コース（昼食、鳥合わせ後に終了。午後は自由にお過ごしください。）

② 10時～15時コース（鳥合わせ後、さらに渚でミヤコドリをみるぞー！）

トイレはいたる所にありますので安心です。

5月中止のリベンジ観察会、シギ・チドリを楽しみましょう。

※市外観察会は、流山野鳥同好会会員限定の申し込み制となります。（WEB会員の方は参加できません。）

できるだけホームページの「会員ページ」→「申し込みフォーム」からお申し込みください。

または、ホームページお問い合わせメール mail: wbc-nagareyama.net/contactus/

電話の場合は、相馬 070-9082-1239 をお願いします。

雨模様で開催判断に迷う場合は、メール連絡を予定しています。

◆ 新入会員の紹介

山下美月さん 相馬由佳さん 川上和雄さん

● よろしくお願ひします。

◆ 令和5年6月30日現在の会員数

単体会員40名+家族会員19名=合計59名

流山野鳥同好会会報 No. 144 2023年7月10日発行（年4回発行1月・4月・7月・10月）

発行人 相馬 利雄

連絡先 〒270-0163 千葉県流山市南流山6-27-11 TEL・FAX：04-7159-0972

携帯：070-9082-1239 Mail：t.souma1956@gmail.com

郵便為替口座 加入者名「流山野鳥同好会」口座番号：00130-3-608241

2023年 流山野鳥同好会



部員募集



一緒に同好会を盛り上げましょう！



探鳥部

--- 目的 ---

- ✓ 会員満足度の向上
- ✓ 新規会員の募集

--- 活動 ---

- ✓ 観察会の企画
(場所・時間・内容等)
- ✓ 観察会のガイド

--- ファシリテーター ---

- ✓ 落合聡



会員部

--- 目的 ---

- ✓ 会員満足度の向上

--- 活動 ---

- ✓ 会報の発行
(企画・編集・校正)
- ✓ 行事・イベントの
企画・実施

--- ファシリテーター ---

- ✓ 相馬利雄



広報部

--- 目的 ---

- ✓ 新規会員の募集

--- 活動 ---

- ✓ 市民への周知
(宣伝・広報)
- ✓ HP運営
(企画・実施等)

--- ファシリテーター ---

- ✓ 菅野文夫

上記3つの部会は、会員満足度の向上と新規入会者を増やしていくことを目的に、2023年度に発足し活動を開始しました。

お知らせ

「観察会の参加費」について

(ホームページにて告知しておりますが、再度ご確認をお願いします)

.....

会員の皆さまおよび観察会に参加されたことのある非会員の皆さまへ

この度、観察会における保険料等の経費増大にともない、2023年4月16日の定例観察会以降、観察会の参加費としてお一人あたり200円をご負担いただくことになりました。実施する観察会の種別によって内容が異なりますので、詳しくは以下の表をご参照ください。

種別	非会員（WEB会員を含む）	流山野鳥同好会会員
市内観察会	200円 ※1	無料
市外観察会	参加不可 ※2	200円 ※1

※1 右記の場合は無料になります。(1)同行家族（何名でも可） (2)高校生以下

※2 市外観察会への参加は流山野鳥同好会の会員限定となります。

観察会当日、現金にてお支払いいただきますので、できるだけ釣り銭が要らないようご準備をお願いいたします。今般の諸事情をご賢察の上、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

2023年4月6日 事務局